

様式 5

平成 29 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 29 年 6 月 29 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化学類・准教授

申 請 者 名 高木修一

助成事業の区分 (該当するものに印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営 (学会参加)) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事 業 名	東北英語教育学会第 36 回山形研究大会での研究成果公開
事業実施期間	平成 29 年 6 月 24 日 ~ 平成 29 年 6 月 25 日
成 果 の 概 要	<p>英語教育学に関する地方国内学会である東北英語教育学会第 36 回山形研究大会に参加して学会発表を行った。</p> <p>申請者は「EFL 説明文読解における教育的介入の効果：精緻化質問と繰り返しの比較」の題で、口頭発表を行った。</p> <p>本発表に対して、大学教員を中心とした参加者と質疑応答を行い、多数のフィードバックを得ることができた。実験デザインに始まり、分析手法や結果の考察について加筆・修正が必要であることが示唆として得られた。これらのフィードバックを基にした推敲の後、論文としてまとめる予定である。</p> <p>本事業の成果として、国内学会における研究成果の公表が促進されたのと同時に、申請者の研究に対する継続的な効果が期待される。</p>